

神明(明石川等)地域総合治水推進計画

(資料編)

令和7年3月

兵庫県

神明(明石川等)地域総合治水推進計画(資料編) 目次

1. 計画地域の概要	1
1-1. 計画地域の概要	1
1-2. 洪水被害の発生状況	10
2. 河川下水道対策に関する資料	17
3. 流域対策に関する資料	32
3-1. 調整池の設置及び保全	32
3-2. 土地等の雨水貯留浸透機能	33
3-3. ポンプ施設(河川管理施設であるポンプ施設を除く)との調整	34
3-4. 流木・土砂流出防止対策【参考】	34
4. 減災対策に関する資料	35
4-1. 浸水が想定される区域の指定・県民の情報の把握	35
4-2. 浸水による被害の発生に係る情報の伝達	36
4-3. 浸水による被害の軽減に関する学習	38
4-4. 浸水による被害の軽減のための体制の整備	38
4-5. 訓練の実施	38
5. 神明地域での代表的な取り組み(要旨)	39
6. 計画改定履歴	43

1. 計画地域の概要

1-1. 計画地域の概要

(1) 土地利用、地形・地質

計画地域の中上流部は山地、水田が多く、その中に西神ニュータウン等の既開発地が見られる。また、南部の臨海部は工業地帯を形成する等、市街地が占めている。

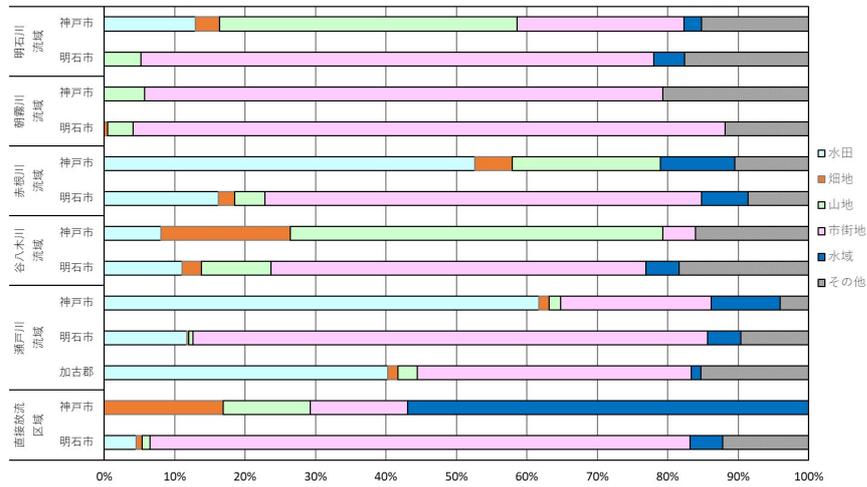
計画地域内には、国道2号、中国自動車道、山陽自動車道などの幹線道路や、JR山陽新幹線、JR山陽本線、山陽電鉄などの鉄道が東西に延びている。

流域の地形は、おもに海拔80～200mの丘陵地からなる。東側には海拔500～900mの六甲山地、西側には、広大な平坦面を頂部にもつ明美台地が広がっており、南側は播磨灘に面している。上流域は六甲山地の西端部にあたり、山地には長坂山、シブレ山、雄岡山などがある。一方、中流域には丘陵地が広がっており、平坦な地形面をもつ河岸段丘が発達していることも大きな特徴の一つである。

計画地域の中心となる明石川流域の地質は、約1,500万年前に堆積した地層である神戸層群と、約200万年前に堆積した大阪層群が広い範囲を覆っている。これらの地層の分布域は、上流側が神戸層群、下流側が大阪層群となっており、流域のほぼ中央を南北に走っている高塚山断層が両者の境界となっている。

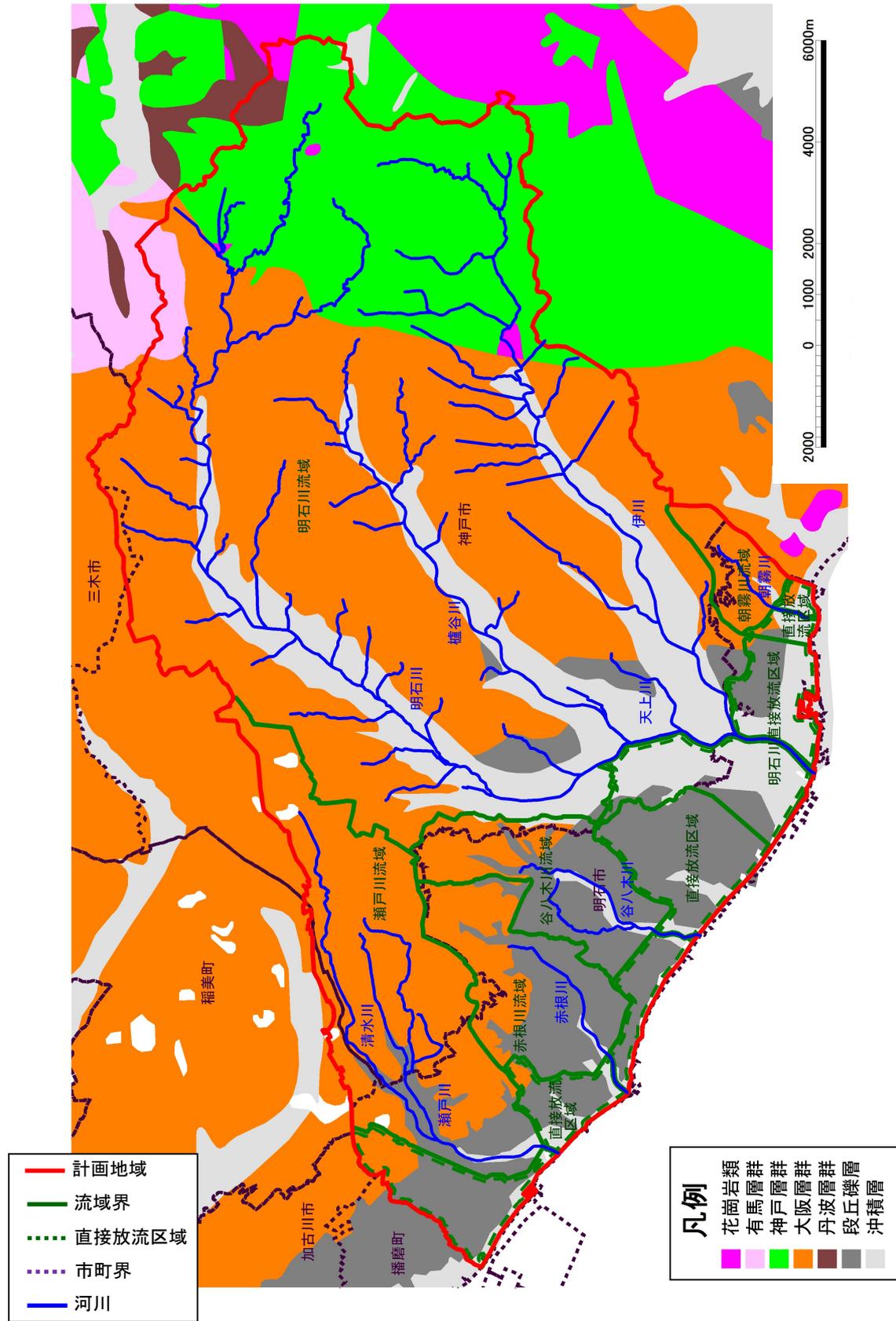
表 1 土地利用別面積

		計画地域内の土地利用別面積(km ²)						合計
		水田	畑地	山地	市街地	水域	その他	
明石川流域	神戸市	16.3	4.3	53.3	29.8	3.2	19.2	126.0
	明石市	0.0	0.0	0.2	3.1	0.2	0.8	4.3
	三木市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	16.3	4.3	53.5	32.9	3.3	19.9	130.3
朝霧川流域	神戸市	0.0	0.0	0.1	0.7	0.0	0.2	0.9
	明石市	0.0	0.0	0.1	1.9	0.0	0.3	2.3
	合計	0.0	0.0	0.1	2.6	0.0	0.5	3.2
赤根川流域	神戸市	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	明石市	1.8	0.3	0.5	6.9	0.7	1.0	11.1
	合計	1.9	0.3	0.5	6.9	0.8	1.0	11.3
谷八木川流域	神戸市	0.1	0.2	0.5	0.0	0.0	0.1	0.9
	明石市	1.1	0.3	1.0	5.3	0.5	1.8	9.9
	合計	1.2	0.4	1.5	5.3	0.5	2.0	10.8
瀬戸川流域	神戸市	8.9	0.2	0.2	3.1	1.4	0.6	14.4
	明石市	1.1	0.0	0.1	6.6	0.4	0.9	9.0
	加古郡	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.8
	合計	10.2	0.2	0.3	9.9	1.8	1.6	24.1
直接放流区域	神戸市	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3
	明石市	0.4	0.1	0.1	6.5	0.4	1.0	8.5
	合計	0.4	0.2	0.2	6.6	0.4	1.0	8.8
合計		29.9	5.5	56.1	64.3	6.8	25.9	188.6



出典：国土数値情報 土地利用データ(令和3年度)

図 1 土地利用割合



出典：1/5000 土地分類基本調査 地形分類図(国土交通省 国土政策局 国土情報課 HP)、兵庫県の地質

図 5 地質